

週休2日制 試行工事

事例 三田線レール削正工事【交通局】

各保守区との綿密な調整や保線機械の
確実な点検により週休2日制を実現！



レール削正工事の様子

施工した三田線レール削正工事は
列車の走行により発生する騒音や振
動の低減、レールの損傷を未然に防
ぐためにレールを研削する工事です。
本工事では終電から始発までの間
にレール削正車と呼ばれる大型保線
機械を使用して作業を行うため、他
の保守用車の運行や夜間工事との事
前調整を綿密に行うこ
とはもとより、作業前
点検を入念に行い、機
械トラブルによる工程
変更を防ぐことで4週
8休を確保することが
できました。



作業前点検を入念に

技術者の声

プロフィール



東急軌道工業(株)
工事本部第一工事課
白鳥 孝
2002年入社

大学は機械制御工学科
を卒業。
入社後はレール削正車
作業など、一貫して大
型保線機械工事に従事。

Q 試行工事に携わっていかがでしたか

錯綜する夜間工事や保守用車運行等、受注者側では決められない要因も多く、当初週休2日の確保は難しいと思われましたが、監督員と打合せを重ね、他の保守区との調整も図って戴き工程に余裕をもつことができました。これをしっかりと守るべく、作業前点検を入念に行い、機械トラブル等で工程を崩すことなく完工することができ、まさに発注者・受注者一体となって実現することができたと思います。

Q 建設業を目指す方へのメッセージをお願いします

保線工事も多分に漏れず3Kと呼ばれる職場環境ではありますが、機械化により、少しずつ作業の効率化が図られています。工事はどうしても終電から始発までの深夜の作業が主体となってしまうますが、東京の鉄道ネットワークを維持し、列車の安全運行を支えるやりがいのある職業に携わってみたいと思います。

思い出の現場

日々傷んだレールを補修する作業の繰り返しですが、作業が予定通り終わり始発列車が当たり前のように走り始めると、ほっとします。



上：施工前のレール
下：施工後のレール



左：万が一、本線上でレール削正車に走行不能トラブルが発生した場合に備え、救援モーターカーとの連結訓練を行います。
右：レール削正により生じる火花が信号ケーブルに支障をきたさないよう、保線区立会者とともに養生状態を確認します。